

I. 保健医療の調査研究事業

① 脳血管障害に関する調査臨床研究

大田慎三

大田慎三医師の脳血管内治療を主とする研究の学会発表、および誌上発表を予定。
“Contrast medium free stenting technique for ostial stenosis of the extracranial vertebral artery - Technical Note -“ INR 投稿に向けて、現在校正中。

② 脳過敏症に関する臨床研究—効果的なバイオマーカーの調査研究

大田浩右 小林奈美

「脳過敏症患者のオージオグラムの特徴(一次レポート)」として、2015 年 5 月 1 日～6 月 24 日までの外来受診者でオージオグラム検査を実施した 128 人の脳過敏症患者の特徴について一次レポートを作成した。

③ 外来におけるメディカル・カウンセリング技法の検討

小林奈美 大田浩右

不定愁訴の患者支援としての、メディカル・カウンセリングの技法について、実践を通して、検討している。

2015 年 11 月～2016 年 3 月のカウンセリング実績:

実数計 150 人(月平均 37 人) 延べ数計 160 人(月平均 40 人)

II. 市民健康啓発事業

① 脳過敏症啓発事業

大田浩右、小林奈美

・「慢性愁訴の治療革命—脳過敏症」英訳版、“Cephalic hypersensitivity syndrome: A revolutionary approach to healing chronic illness syndrome”完成、2 月に Web 公開し、3 月に出版した。

・ 脳過敏症ホットライン無料相談

継続事業。「脳過敏症ホットライン」のホームページを立ち上げ、Web 上へホットライン相談 Q&A、および症例を掲載している。引き続き啓発活動を行っていく予定。
今年度の相談件数は、42 件。

② がん治療に関する一般読者向け書籍の出版

大田浩右

Web 公開していた「余命半年 ステージ 4 からの脱出」の内容に加筆修正し、書籍化の準備を行った。

③ 死体腎移植に関する一般読者向け書籍の執筆 小林奈美 大田浩右
大田記念病院として協力した死体腎移植の黎明期から、最近話題の病気腎移植に至る、日本の死体腎移植をめぐる諸問題について論点を整理する。平成 28 年秋に出版を予定。

④ 市民公開講座 虹の会 大田浩右
2015 年 11 月 23 日、福山ニューキャッスルホテルにおいて、第 27 回虹の会を開催。大田浩右先生の「心と体はつながっている」をテーマにしたお話と、広島県出身の若手音楽家によるコンサートをを行い、300 名を越える参加をいただいた。

Ⅲ. 保健医療・福祉の顕彰事業

① 澁谷昇賞

第 4 回澁谷昇賞顕彰候補者選定について、選考委員で検討した結果、今年度は、医療法人賢仁会 松岡病院理事長 松岡巖様に、医療優功賞および社会功労賞、両賞の授与が決定した。松岡先生には、40 年以上にわたり、地域産婦人科医療を支えてこられ、安心して出産子育てのできる環境を作ってこられた。地域医療および地域社会への貢献はめざましく、顕彰に値すると判断、2 月 27 日、授与式を行った。